

平成 26 年度

建築都市局予算要求方針

【目次】

- 1 平成 26 年度建築都市局予算要求総括表及び経営方針・・・ 1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・・・ 4

1 平成26年度建築都市局予算要求総括表及び経営方針

(1) 平成26年度建築都市局予算要求総括表

【一般会計】

平成26年度要求総額 22,616,515千円
 (平成25年度予算額 19,755,076千円)
 前年度比 +14.5%

《主な事業》

(単位：千円)

| 局の柱 | 事業名 | 平成26年度 予算要求額 A | 平成25年度 予算額 B | 増減 A-B |
|-----|------------------------------|----------------------|--------------------|-----------|
| (1) | 折尾地区総合整備事業 (連続立体交差・街路事業等) | 4,281,000 | 3,048,000 | 1,233,000 |
| | 【参考】 (折尾土地区画整理事業) | 1,231,400 | 1,270,000 | ▲38,600 |
| | 一般会計＋特別会計の合計 | 5,512,400 | 4,318,000 | 1,194,400 |
| | 小倉駅南口東地区市街地再開発事業 | 107,200 | 5,800 | 101,400 |
| (2) | 環境首都総合交通戦略の推進 | 295,813 | 89,404 | 206,409 |
| (3) | 城野ゼロ・カーボン先進街区形成事業 | 2,448,513 | 1,881,300 | 567,213 |
| | ⑨住宅街区のスマート化促進事業 | 30,000 | 0 | 30,000 |
| | ⑨住まい向上リフォーム促進事業 | 200,000 | 0 | 200,000 |
| (4) | 狭あい道路拡幅整備事業 | 51,800 | 33,000 | 18,800 |
| | 老朽空き家等除却促進事業 | 50,000 | 39,925 | 10,075 |
| | 老朽空き家等対策推進事業 | 39,060 | 10,650 | 28,410 |
| | 市民との協働による景観づくり | 16,100 | 13,392 | 2,708 |
| (5) | ⑨中古住宅流通促進事業 | 10,000 | 0 | 10,000 |
| | 都市モノレール長寿命化事業 | 1,024,950 | 761,800 | 263,150 |
| | 市営住宅整備事業 | 3,297,956 | 3,190,109 | 107,847 |
| (6) | 民間建築物耐震改修費等補助事業 | 130,100 | 117,200 | 12,900 |
| | 市有建築物耐震化推進事業 | 84,600 | 13,530 | 71,070 |

※局の柱番号の内容については3頁に記載

【北九州市土地区画整理特別会計】

平成26年度要求総額 1,757,000千円
 (平成25年度予算額 1,795,000千円)
 前年度比 ▲2.1%

《主な事業》

(単位：千円)

| 事業名 | 平成26年度 予算要求額 A | 平成25年度 予算額 B | 増減 A-B |
|------------|-------------------|-----------------|-----------|
| 折尾土地区画整理事業 | 1,231,400 | 1,270,000 | ▲38,600 |

【北九州市土地区画整理事業清算特別会計】

平成26年度要求総額 1,300千円
 (平成25年度予算額 1,700千円)
 前年度比 ▲23.5%

【北九州市住宅新築資金等貸付特別会計】

平成26年度要求総額 53,500千円
 (平成25年度予算額 70,500千円)
 前年度比 ▲24.1%

【北九州市駐車場特別会計】

平成26年度要求総額 356,000千円
 (平成25年度予算額 484,000千円)
 前年度比 ▲26.4%

【北九州市学術研究都市土地区画整理特別会計】

平成26年度要求総額 3,961,000千円
 (平成25年度予算額 3,333,000千円)
 前年度比 +18.8%

《主な事業》

(単位：千円)

| 事業名 | 平成26年度 予算要求額 A | 平成25年度 予算額 B | 増減 A-B |
|--------------------------|-------------------|-----------------|-----------|
| 北九州学術・研究都市北部 土地区画整理事業 | 1,771,151 | 2,008,000 | ▲236,849 |
| 地方債償還 | 2,055,763 | 1,190,622 | 865,141 |

(2) 平成 26 年度建築都市局経営方針

建築都市局においては、「元気発進！北九州」プランの基本方針に加えて、「緑の成長戦略で、人にやさしく元気な街づくり！」や「北九州市新成長戦略」も踏まえ、「活力のあるまち」、「環境にやさしいまち」、「暮らしやすい安全なまち」を実現します。

I 活力のあるまち

(1) 都市の発展を支える拠点地区の整備

- ・折尾地区や北九州学術研究都市北部などの基盤整備や、良質な市街地住宅の供給を促進します。

(2) 交通・物流基盤の機能強化とネットワーク化

- ・広域物流ネットワークの強化や環境首都総合交通戦略の推進に取り組み、環境首都にふさわしい交通体系の実現をめざします。

II 環境にやさしいまち

(3) 地域からの低炭素社会への取組み

- ・城野ゼロ・カーボン先進街区を形成するとともに、既存住宅のエコ化やバリアフリー化などに対する助成を行い、良質な住宅・建築ストックの形成を図ります。

III 暮らしやすい安全なまち

(4) 快適に暮らせる身近な生活空間づくり

- ・老朽空き家等の対策や市民との協働による景観づくりなどに取り組みます。

(5) 都市基盤・施設の効率的な活用・整備

- ・市営住宅の耐震改修などに計画的に取り組むとともに、北九州モノレールのインフラ部分の長寿命化等を推進します。

(6) 安全で安心できるまちづくり

- ・災害に強いまちづくりを推進するため、民間建築物耐震改修費等補助などを行います。

2 重点的に取り組みを行う主なもの

(1) 都市の発展を支える拠点地区の整備

① 生活支援拠点の充実

V-1・継続

・折尾地区総合整備事業 5,512,400 千円

〔折尾駅周辺連続立体交差事業・街路事業等 4,281,000 千円
折尾土地区画整理事業 1,231,400 千円〕

折尾駅周辺の鉄道の立体化により踏切を除去するとともに、一帯の幹線道路整備や鉄道跡地を含む土地区画整理の面整備を総合的に実施することにより、交通渋滞の解消、住環境の改善、まちの一体化、回遊性の向上などを図り、折尾地区を魅力ある学園都市として、また、広域交通拠点として整備します。

平成26年度は、短絡線の高架工事や街路事業の用地買収を推進するとともに、土地区画整理事業において堀川町地区の宅地整備工事や家屋移転補償を推進します。

② 戦略的拠点の機能強化

V-1,VI-4
継続

・北九州学術・研究都市北部土地区画整理事業 1,771,151 千円

周辺の自然環境や都市環境を活かしながら、先端科学技術に関する教育・研究機関の集積や良好な住宅地の供給を目標にした複合的なまちづくりを進めており、引き続き宅地や道路等の整備を行います。

V-1・継続
【新成長戦略関連】

・小倉駅南口東地区市街地再開発事業 107,200 千円

本市の玄関口である小倉駅の小倉城口にふさわしい都市機能の集積と土地の高度利用を図るため、都市計画道路博労町線の拡幅整備とあわせた市街地再開発事業を行う施行者に対して、事業費の一部を補助し、事業の推進を図ります。

V-1・新規

・小倉駅新幹線口西地区の交通アクセス環境整備事業 215,000 千円

小倉駅新幹線口地区において、新球場や民間開発の整備を控え、今後予想される自動車及び歩行者の増加などに対応するため道路を整備し、東西方向の通行を可能にすることで、地区内交通の円滑化を図ります。

(2) 交通・物流基盤の機能強化とネットワーク化

① 利便性の高い交通ネットワークづくり

V-2・拡充

・環境首都総合交通戦略の推進

295,813 千円

過度のマイカー利用から地球環境にやさしい公共交通への利用転換を促すため、利用促進の意識改革を図るモビリティ・マネジメントや、駅・主要なバス停において乗り継ぎや待合い環境等を改善する交通結節機能の強化を実施します。

あわせて、低床式バスの導入促進を図る助成を行うなど公共交通の利便性向上や利用促進に取り組みます。

(3) 地域からの低炭素社会への取組み

① 低炭素社会を実現するストック型社会への転換

VI-2・継続
【新成長戦略関連】

・城野ゼロ・カーボン先進街区形成事業

2,448,513 千円

小倉北区域野地区において、様々な低炭素技術・方策を総合的に取り入れて、ゼロ・カーボンを目指した先進の住宅街区を整備するため、土地区画整理事業（施行主体であるUR都市機構への補助金）や駅前広場等の整備を行います。

VI-2・新規
【新成長戦略関連】

・住宅街区のスマート化促進事業

30,000 千円

城野地区で導入するタウンマネジメント及びエネルギーマネジメント等の取組みについて、民間事業者の参画誘導や組織設立に向けた計画を検討し、また、低炭素に寄与する民間への助成を行います。

VI-2・新規
【新成長戦略関連】

・住まい向上リフォーム促進事業

200,000 千円

質の高い社会資産となる住宅ストックの形成と活用を促進するため、環境未来都市住宅リフォーム等促進事業を改め、新たな枠組みのもと、既存住宅のエコ（環境対策）や高齢化対応、安全・安心に資するリフォーム工事について、助成を行います。

(4) 快適に暮らせる身近な生活空間づくり

① 彩のあるまちづくり

Ⅲ-1・継続

・狭あい道路拡幅整備事業

51,800 千円

幅の狭い道路に面した建築物の建替え等が行われる際に、後退しなければならない土地を市に寄付してもらうことにより、安全で住みよい住宅市街地の形成に取り組みます。

Ⅲ-1・拡充

・老朽空き家等除却促進事業

50,000 千円

(うち拡充分 12,500 千円)

住環境の改善を図るため、一定基準を満たす老朽空き家等について、除却費の一部を助成します。なお、平成 26 年度においては補助対象を見直(拡充)します。

Ⅲ-1・拡充

・老朽空き家等対策推進事業

39,060 千円

(うち拡充分 20,000 千円)

老朽空き家等について、所有者に対し適正な維持保全を促すため、対応窓口の一元化や啓発活動を強化するなど、対策の充実を図ります。

また、地域に悪影響を及ぼしている老朽空き家等について、市と地域が協働して実態調査を実施します。

② うるおいのある空間づくり

Ⅲ-1、V-3
継続

・市民との協働による景観づくり

16,100 千円

景観資源の発見・活用や、地域主体の景観づくりの取り組みを積極的に支援するとともに、景観意識の向上や担い手育成に取り組みます。

Ⅲ-1・新規

・景観重要建築物の保存・整備事業

1,000 千円

地域の歴史や文化に根ざし、良好な景観の形成に重要な建造物として景観法に基づき指定した「景観重要建築物」が将来にわたり適切に保存されるよう助成します。

(5) 都市基盤・施設の効率的な活用・整備

① 既存ストックの活用

V-3・新規
【新成長戦略
関連】

・中古住宅流通促進事業

10,000 千円

中古住宅の流通の活性化を図ることを目的に、住宅瑕疵担保責任保険や建物検査にかかる費用を補助します。

V-3・継続

・都市モノレール長寿命化事業

1,024,950千円

モノレールの軌道桁や支柱などインフラ部の長寿命化、維持管理費の縮減を図るため、北九州モノレール長寿命化計画に基づき、劣化対策や耐震補強など、長寿命化事業を実施します。

V-3・継続

・市営住宅整備事業

3,297,956千円

老朽化の著しい市営住宅の建替えに着手するとともに、既存市営住宅について、すこやか改善事業、長寿命化事業、耐震改修工事を実施します。

(6) 安全で安心できるまちづくり

① 災害に強いまちづくり

Ⅱ-1・拡充

・民間建築物耐震改修費等補助事業

130,100千円

(うち拡充分 30,000千円)

民間建築物の耐震化を促進するため、一定の要件に該当する木造住宅や、マンション、多数の市民が利用する特定建築物の耐震化に要する費用の一部を補助します。

また、耐震改修促進法の改正により、一定の要件に該当する特定建築物の耐震診断が義務化されたことから、制度を拡充し、対応します。

Ⅱ-1・継続

・市有建築物耐震化推進事業

84,600千円

市の耐震改修促進計画に基づき、市有特定建築物の耐震化を推進するため、耐震性能を有していない建築物について、耐震補強計画及び実施設計を行います。